

Q&A

Q 学部ではなく、学環としているのはなぜですか。

学部等連係課程制度を活用しているため、「学環」という名称を使用していますが、従来の学部と同じものと捉えていただいてもかまいません。
学部等連係課程制度を活用することによって、既存の学部の教育資源を活用した分野横断的な学位プログラムを構築することが可能となり、文理融合型の教育を実践するため、共創学環でも学部等連係課程制度を活用しています。

Q それぞれのコースの定員は何人でしょうか。また、コース分けはどのようにして行われるのでしょうか。

それぞれのコースに定員は設定していません。原則、学生の希望に応じて地域イノベーションコースまたはグローバルイノベーションコースに配属しますが、コース選択にあたっては、2年次の演習科目を通じて自身が取り組む課題・発見を明確にしてミスマッチのないようにします。

Q 共創学環を卒業することで取得可能な資格はありますか。

現在のところ、本学環を卒業することで取得できる資格は想定していませんが、引き続き検討していきます。

Q Kumamoto探究入試の地域課題解決挑戦型とグローバルリーダー育成型で課される課題解決セミナーはどのようにして受講するのですか。

まず、複数回の講義をオンライン（オンデマンド形式）で各自都合の良い時間に受講します。その後、課される最終課題をレポート形式で提出して可否で評価します。
なお、グローバルリーダー育成型の課題解決セミナーでは一部英語を使用します。詳細については、HP等で公表します。

Q 理系クラスの学生が一般選抜のA方式を受験することは可能ですか。また、その逆も可能ですか。

所属しているクラスによってA方式、B方式の受験に制限は設けていません。大学入学共通テストで必要な科目を受験していれば受験は可能です。

Q どのキャンパスで授業を受けるのでしょうか。

主に黒髪キャンパスで授業を受けます。文学部、法学部、理学部、工学部の授業科目もあり、黒髪キャンパス内の様々な教室で授業が行われます。

学生納付金（令和6年度現在）

入学科（予定額） 282,000円

授業料（予定額） 年額535,800円（半期267,900円）

※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます



新学環設置準備室

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
TEL:096-342-2309, 2031, 2032
E-mail: kyoso-gakkan@jimu.kumamoto-u.ac.jp
https://www.kyoso.kumamoto-u.ac.jp/



入試関連



共創学環



熊本大学黒髪キャンパスまでのアクセス

- 飛行機（阿蘇くまもと空港まで）
東京から ― 約2時間
名古屋から ― 約1時間30分
大阪から ― 約1時間30分
※ 熊本市内への移動は
空港リムジンバスを利用
- 新幹線（JR熊本駅まで）
新大阪駅から ― 約3時間
博多駅から ― 約35～50分
- バス
JR熊本駅から：産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き（桜町バスターミナル経由）乗車「熊本大学前」下車
桜町バスターミナルから：産交バス「楠田地」または「光の森産交」行き乗車「熊本大学前」下車



共創学環
School of Social Innovation

■地域イノベーションコース
■グローバルイノベーションコース
入学定員 80名 / 取得学位 学士(学術)
令和8年4月開設予定

地球規模の 文理の知を 持続可能な

共創学環は、情報融合学環に次いで、令和8年4月に設置する9つ目の学部になります。共創学環では、地域社会から国際社会に至る様々な社会課題を見だし、実践を通じて課題解決に導くために必要な知識・スキルを身につけます。さらに、知識・スキルを身につけるだけでなく、実際の社会で実践・展開し、持続可能な社会の実現に向けてイノベーション（社会変革をもたらす新しい価値）を創り出す人材を育成します。共創学環での教育には、経営・マネジメント、多文化共生・コミュニケーションの分野を多く取り入れています。なぜなら、課題解決や社会イノベーションの創出には、多くの人たちと共に取り組むことが必要です。そのために

視野と地域に根ざした視点、 融合し、周囲を巻き込み 社会を共に創り出す人材へ

は様々な文化・背景、考え方を持つ人への理解やコミュニケーションスキルが重要であり、さらに取組を一時的なものにせず、将来にわたって発展・継続していくためにも経営・マネジメントの重要性は高いと考えているからです。また、これらに加え、データサイエンス、人文科学、経済、公共政策、自然科学、生命科学の科目を配置し、特定の専門分野にとどまらない学際的な知識・多面的な視野を養います。さらに、企業・自治体・金融機関等で実務にあたる人や起業家・経営者、それぞれ出身地が異なる外国人教員や海外の機関で活躍する人、海外の大学で学ぶ学生など国内外

の多種多様な人たちが携わることで、ローカル（ミクロ）の視点からグローバル（マクロ）の視点まで幅広く学ぶことができるのも共創学環の特徴です。共創学環では社会課題の解決に取り組み、新しい価値創出に挑戦する人を求めています。文系・理系、農業や工業・商業などバックグラウンドは一切問いません。今、新しい未来への扉を開くときです。持続可能な社会を共に創りましょう。

共創学環 学環長候補者
教授
金岡 省吾

INDEX

KUMAMOTO UNIVERSITY
SCHOOL OF SOCIAL INNOVATION

- 01 設置の目的・学環長候補者挨拶
- 03 カリキュラム
- 05 地域イノベーションコース
- 07 グローバルイノベーションコース
- 09 入試情報
- 11 進路情報
- 13 教員紹介

カリキュラム

教養教育科目及び演習科目に加えて、人間科学、社会人間学、地域科学、歴史、コミュニケーション、多文化共生、経営、経済、公共政策、データサイエンス、自然科学、生命科学の幅広い分野から構成される文理融合の専門科目群をもうけ、多面的な視野・知識・技能や実践的な課題解決能力が身につくように編成しています。

※ 以下の科目名称等については変更する場合があります。

	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養教育	○ 外国語科目(英語) ○ 外国語科目(ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語) ○ 情報科目		○ 外国語科目(自由選択) ○ リベラルアーツ科目 ○ Multidisciplinary Studies		○ 現代教養科目 ○ キャリア科目		他	
共創基盤科目	○ プレゼンテーション入門 ○ 共創キャリアデザイン ○ クリティカルシンキング入門 ○ リーダーシップスキル ○ 共創実践論Ⅰ Pick UP ○ 共創実践論Ⅱ		○ 共創企業戦略論Ⅰ ○ 共創企業戦略論Ⅱ ○ 地域再生論 ○ 経済地理学 ○ 社会課題解決のためのデータサイエンス基礎					
共創プロジェクト科目	○ 共創プロジェクト演習Ⅰ	○ 共創プロジェクト演習Ⅱ	○ 共創プロジェクト演習Ⅲ	○ 共創プロジェクト演習Ⅳ	○ 地域共創プロジェクト演習 or ○ グローバル共創プロジェクト演習		○ 地域共創プロジェクト研究 or ○ グローバル共創プロジェクト研究	

共創専門科目	データサイエンス・自然科学・生命科学系	
	○ ビジネス統計学 ○ 社会課題解決のためのデータサイエンス応用 ○ グローバルコラボレーションとAIテクノロジー ○ デジタル・グリーン・トランスフォーメーション ○ データマイニング ○ 企業から学ぶICT・DX活用論 ○ 安全学 ○ 生物資源学	○ バイオテクノロジー ○ バイオ循環型グリーンテクノロジー ○ グリーンケミストリー ○ 社会インフラメンテナンクス学 ○ 水環境管理論 ○ 地域デザイン学 ○ アーバンプランニング ○ 防災・減災学 ○ くまもと流域圏の自然と生物多様性
	経営・経済・公共政策系	
	○ 地域経済論 ○ ローカルイノベーター育成論Ⅰ ○ ローカルイノベーター育成論Ⅱ ○ 経営戦略論 Pick UP ○ マーケティング論 ○ 消費者行動論 ○ コーポレートガバナンス論	○ 与信会計論 ○ アート思考演習 ○ マーケティング・リサーチ ○ サービスマーケティング ○ 環境経済論 ○ 地域政策 ○ 地方財政 ○ 経済政策 ○ 国際経済論 ○ 行政学Ⅰ ○ 行政学Ⅱ ○ 社会保障Ⅰ ○ 社会保障Ⅱ ○ 地域社会学概論Ⅰ
共創専門科目	コミュニケーション系	
	○ 社会科学方法論 ○ コミュニケーションとジェンダー ○ 文化進化論 ○ クリティカル・インシデント ○ 情報生態系とメディア ○ 総合実践英語Ⅰ ○ 総合実践英語Ⅱ	○ 総合実践中国語 ○ 総合実践韓国語 ○ ポジティブ心理学 Pick UP ○ コミュニティー心理学 ○ 研究法入門 ○ ディベートⅠ ○ ディベートⅡ ○ 社会調査法
	コミュニケーション系	
	○ ダイアログ実践Ⅰ ○ ダイアログ実践Ⅱ ○ 紛争解決・平和構築概論 ○ 紛争解決・平和構築実践論 ○ 日英・英日翻訳演習 ○ コミュニケーション論 ○ 心理学概論 ○ コミュニケーション特論	
共創専門科目	多文化共生系	
	○ グローバル・チーム・ダイナミクス ○ 多文化社会と日本 ○ 韓国現代文化論 ○ 日韓比較文化論 ○ 現代台湾研究 ○ 台湾の文化と社会 ○ 日本語日本文学入門	○ 中国語圏文化論 ○ 英語圏文化論 ○ ドイツ語圏・フランス語圏文化論 ○ 比較文学・国際文化学入門 ○ 現代文化資源学入門 ○ 倫理学概論 ○ 社会学概論
	多文化共生系	
	○ 文化人類学概論 ○ 日本史概説Ⅰ ○ 考古学概説Ⅰ ○ アジア史概説Ⅰ ○ 西洋史概説Ⅰ ○ 文化史概説Ⅰ	

Pick UP

「実践的な課題解決×文理融合」のカリキュラムで、フィールドワークを主軸とした産学官金連携・チーム型学修

共創基盤科目

共創実践論Ⅰ・Ⅱ：金岡 省吾 教授 / 尾山 真 准教授

異なる専門性を持つ講師陣による講義を通じて、持続可能な社会の実現に向けた地域課題の解決に必要な知識・スキルを学び、具体的な解決策を探索します。

共創実践論Ⅰでは、人口減少や地域課題をテーマに、異なる専門性を持つ講師陣による講義を通じて、持続可能な社会の実現に向けた地域課題の解決方法を学びます。多様なアプローチや事例分析を交え、課題解決に必要な知識とスキルを身につけます。また、グローバルな視点を取り入れたコンテンツも含まれており、国際的な課題意識も育成します。共創実践論Ⅱでは、人口減少や地域課題に対する具体的な解決策を探索し、多角的視点から課題分析とアプローチ方法を深く学びます。また、グローバルコンテンツを取り入れ、国際的な視点を持った問題解決力を養成します。実践的な議論やケーススタディを通じて、共創の場を形成するための知識と応用力を高め、社会課題への対応力を強化します。



共創専門科目

ポジティブ心理学：西川 里織 准教授

ポジティブな感情や人間の強さの科学とその応用について取り上げ、ポジティブ心理学の現代社会における実践的な価値を探ります。

ポジティブ心理学は、個人や社会の繁栄を促す強みや長所を研究する心理学の一分野です。講義では、共感、利他主義、感謝、愛着、愛などのポジティブな感情や人間の強さの科学とその応用について包括的に取り上げます。さらに、新たな学術的成果や神経生物学的基盤を踏まえ、多様な社会の側面や文化的背景に根ざした人々の「強み」に焦点を当てます。科学的根拠に基づき、ポジティブ心理学が現代社会の様々な側面にどのように役立つのか、その実践的な価値を探ります。



共創専門科目

経営戦略論：大藪 亮 教授

経営学や経営戦略論に関する基礎的な考え方や理論について理解し、それらの理論的枠組みを用いて、企業の実際の経営活動について学びます。

経営学は、実務と密接に結びついた、非常に実践志向が強い学問です。その中でも経営戦略は、企業が利益を獲得し持続的に成長するために欠かせない要素となります。戦略には、顧客や競合相手などの外部環境だけでなく、組織の構造や人材といった内部環境にも適合していることが求められます。しかし、これを実現することは簡単ではなく、そこに実際の経営の難しさがあります。本講義では、多くの具体的な事例を取り上げながら、様々な企業の実践を読み解くための経営戦略の知識や理論について解説します。



共創専門科目

グローバルヘルスとウェルビーイング：Hari Prasad Devkota 助教

ケーススタディや実践的な議論を通して、ヘルスリテラシーとグローバルヘルスを学び、さらに、ウェルビーイングを促進するための戦略を学びます。

グローバルヘルスとウェルビーイングでは、疾病予防、医療アクセス、メンタルヘルス、環境がウェルビーイングに与える影響など、世界の健康に関わる主要な課題を探ります。さらに、公衆衛生政策や国際組織の役割、健康改善のための技術的進歩についても検討します。ケーススタディや実践的な議論を通して、ヘルスリテラシーとグローバルヘルスについての学びを深めます。グローバルな健康問題に関する知識を提供し、ウェルビーイングを促進するための戦略を学ぶことがこのコースの目的です。健康格差、持続可能な医療ソリューション、国際協力的重要性についての批判的思考を養います。





地域 イノベーション コース



実践的な学びを通じて、地域が直面する多様な課題を解決し、持続可能な地域づくりを牽引する人材を育成

人口減少など地域が直面する課題解決には、地域リーダーはもとより、地域価値を向上させる地域デザインを担うクリエイティブな人材やデジタル人材、円滑かつ効果的な地域づくり活動を実践するためのマネージャー、コーディネーター、ファシリテーターなど、様々な役割を担う人材が求められます。地域イノベーションコースでは、地域が直面する多様な課題を実地研修を通じて学び、地域のイノベーションを牽引する人材の育成を

目指し、実践の場で活躍する講師陣から学びを深め、人と地域環境に働きかける力を養うことで、共創社会の実現に向けたコーディネート力と課題解決能力を高めます。コース配属は3年次になりますが、1・2年次の演習科目で地域(ローカル)とグローバルの両方の視点で課題解決に向けて学びます。2年次までに学生自身が取り組む課題・発見を明確にしてコース選択にミスマッチのないようにします。

地域共創プロジェクトによる実践を通じた学び



「地域共創プロジェクト」では、育成と実践の場に参加し実践から学び、実践経験を積めるところに特徴があります。地域の実務者や社会人と共に課題解決の場に参加し、課題を調査・分析した上で、解決策を企画し、地域のフィールドで実際に実践します。現場での実践を通じて、地域住民や関係者と連携し、プロジェクトを進行させます。その成果を評価・検証することで、計画の有効性を確認し、課題解決のプロセスをさらに深めます。

さらに、地域事業者の本業による地域課題解決に向けた取組や金融機関・自治体の伴走支援を学ぶことができる「未来創造塾」、都市圏企業が地域の事業者と一緒に課題解決に取り組む「こところば」などを実施し、企業が持つグローバル(グローバル+ローカル)な知識・スキル、地域事業者の地域課題解決がコラボする共創の場を学ぶことができます。これらの学びを通じて、地域の持続可能な発展に貢献できる実践力と応用力を身につけ、地域課題に取り組む次世代のイノベーターとして成長することを目指します。

Features

地域の企業・自治体・金融機関等の全面支援による経営・社会実践教育

先輩学生の声



文学部
森宗 楓矢 さん

私はフィールドワークの実習で佐賀県鹿島市を訪問し、市を代表する地域活性化イベントである「ガタリンピック」に携わってきた方々にインタビューを行いました。発足当初からのメンバーは、当時の地域の状況に危機感を覚え、市内の各団体に呼びかけて自分たちで手作りのイベントを立ち上げたとのことで、全国から注目を集めるまでになり、市の知名度を格段に高めました。地域活性化に取り組む方々の情熱と成功に導くための知恵に感銘を受けました。またデータサイエンス系の授業では地理情報システム(GIS)の技法を修得し、地域の実態を多角的に分析できるようになりました。幅広く専門的な講義に加えて、実践的な実習により、社会の様々な課題を具体的に検討できるのが魅力です。こうした経験を活かして、将来は社会や地域に貢献できる人材になりたいと思います。



実践経験豊かな外部講師



気象予報士・やつしろ未来創造塾2期生
早田 瑠 さん

地域の気象予報士かつ防災士の私が着目した身近な地域課題は、「子育て」と「防災」。自身も子育て世代である中で、子育てしやすいまちづくりを目指して私が行っている取り組みについてご紹介します。



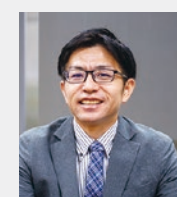
吉永製パン所・あまくさ未来創造スクール1期生
右山 秀幸 さん

人口減少が著しい牛深地域の現状と、そんな地域のパン屋の現状と、取り組んでいる地方創生のリアルをお伝えします。皆さんと対話できることを楽しみにしています！



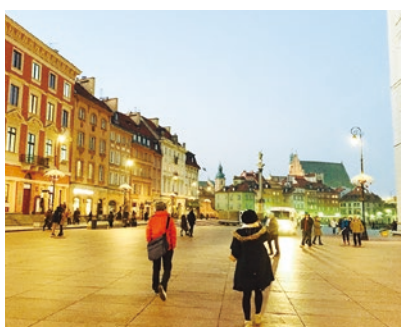
田辺市役所・熊本大学客員准教授
鍋屋 安則 さん

公務員と大学教員の二つの立場で新たな働き方を実践しています。地域課題解決の現場で得た学びをお伝えします。



八代市役所・熊本大学政策研究員
岩田 憲一郎 さん

人口減少によって引き起こされる様々な地域課題に対して、ローカルイノベーターと呼ばれる地域事業者がどのように取り組み、解決しているのか、国の動向や各地の事例を交えながらご紹介いたします。



グローバルイノベーションコース



海外での活動等を通じて、多様な価値観や文化を持つ人々と協力し、地域間の課題をグローバルに解決する人材を育成

現在のようなグローバル化時代には、人々は従来のような国境に囚われる必要はありません。文化的、経済的、政治的な境界を越えた、新たなネットワークや世界的規模の活動や価値の創造が重要になります。高度な言語能力、情報・メディア運用能力、広範な知識と説得力を持ち、新たな価値の創造が可能な人材が求められます。グローバルイノベーションコースでは、グローバル人材を育成するために、異なる価値観の

人々と多様な文化・専門分野の人々と連携して職務を遂行するために必要な教養を学び、地域間の課題をグローバルに解決する能力を身につけます。コース配属は3年次になりますが、1・2年次の演習科目で地域（ローカル）とグローバルの両方の視点で課題解決に向けて学びます。2年次までに学生自身が取り組む課題・発見を明確にしてコース選択にミスマッチのないようにします。

グローバル共創プロジェクトによる実践を通じた学び

「グローバル共創プロジェクト」では、実践的な課題解決型授業活動に取り組みます。様々な社会問題にグローバルな観点から取り組み、問題解決に向けた実践かつ持続可能な方法の検討・実践を行います。主に3種類のプロジェクトがあり、学生は一つ以上を選択します。

- ① 大学・部局間交流協定締結校での調査（長期）
- ② 海外フィールド調査（短期）
- ③ 国内研修・インターンシップ（企業とのコラボ・プロジェクト）

韓国、台湾を中心とした東アジア圏や欧米を中心としたバラエティー豊かな海外でのプロジェクトが提供されます。それに加えて、外国人居住者が増加した現代では、国内でも様々なグローバル活動を展開することができるので、外国人コミュニティや旅行者などを対象とした国内プロジェクトも充実しています。求められる言語能力など、プロジェクトによって異なりますが、教員による丁寧な事前事後指導を通して、学生の興味・関心にあったプロジェクトが成功するように取り組んでいきます。



Features

東アジア圏や欧米を中心とした
様々な国籍の教員による多文化
共生・コミュニケーション教育

先輩学生の声



文学部
蔵座 美菜子さん

幼いころから旅行が好きで、大学では世界遺産や観光業について学ぶ機会は逃すものかと、香港、マカオ、タイ、上海での観光資源やテーマパーク産業についての調査、オーストラリアでの長期留学、また韓国で開催されたユネスコ主催のワークショップにも参加しました。外国人旅行者の地方誘致とオーバーツーリズム問題について研究しましたが、卒論の執筆はもちろん、発表も英語で行いました。今はクルーズ船観光担当部局に勤めています。大学では豪華クルーズ船での旅のような経験はありませんでしたが、大学で身につけたスキルや知識を活かし、お客様ひとりひとりが満足していただけるような「経験」のプロデュースに日々邁進しています。



文学部
中川 菜月さん

私は以前から世界の教育格差や貧困問題に関心があり、それらを解決するための方法・活動について学んでいます。スペイン、タイ、ラオス、ベトナムでの研修に参加しました。特に、大阪のNPOが主催するラオスの公立孤児院にインターンとして学習支援に参加したことは貴重な経験になりました。そこでは、子どもたちと将来の夢について話し合う機会にも恵まれましたし、今後の卒論のための調査も行うこともできました。2025年2月からは交換留学生としてシドニー工科大学で学んでいます。これまでの経験や学びを経て、私自身がさらに教育や貧困問題の解決に関心を抱くようになったことから、お世話になった孤児院の方々に恩返しできるよう、より教育や貧困問題について深く学び、今後自分にできることを探索していきたいです。



アドミッション・ポリシー（抜粋）

◆求める学生像

地域社会から国際社会に至る様々な課題解決に貢献し、社会イノベーションを担うことができる
次のような人を求めます。

- 1.地域社会から国際社会に至る様々な課題の解決に関心を持ち、新しい価値創出に挑戦しようとする意欲が高い人
- 2.課題解決に必要な知識や技能を主体的に探究し、身につけようとする意欲が高い人
- 3.背景や考え方が異なる人と進んで協力し、共に問題の解決に取り組むことへの強い意欲を持っている人
- 4.営利・非営利を問わず、組織体の経営や起業することに深い関心を持っている人
- 5.語学力(英語、中国語、韓国語等)を高め、外国語によるコミュニケーション力を身につけようとする意欲が高い人

募集人員 一般選抜(前期日程)、総合型選抜及び学校推薦型選抜Ⅰにより学生募集を行います。

学部等	コース(※)	入学定員	選抜方式		募集人員	
共創 学環	地域 イノベーション コース グローバル イノベーション コース	80	一般選抜 (大学入学共通テストを課す)	前期日程	40	
			総合型選抜 (大学入学共通テストを課す)	Kumamoto探究入試 【プレゼンテーション型】	(10人程度)	22
			総合型選抜 (大学入学共通テストを 課さない)	Kumamoto探究入試 【地域課題解決挑戦型】	(4人程度)	
				Kumamoto探究入試 【グローバルリーダー育成型】	(4人程度)	
				国際バカロレア入試	(2人程度)	
				海外在住者対象	(2人程度)	
				帰国生徒対象	3	
			私費外国人留学生対象			
			学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない)			

※ コースについて/学環一括で募集し、3年次進級時に原則として希望に応じて各コースに配属する予定です。

入試日程（予定）

入試区分		学生募集要項発表	出願時期	試験日	合格者発表
総合 型選 抜	Kumamoto探究入試(※1) 【プレゼンテーション型】	7月中旬頃	9月下旬頃	10月下旬頃	合格内定:11月上旬頃 最終合格:2月中旬頃
	Kumamoto探究入試(※2) 【地域課題解決挑戦型】				11月上旬頃
	Kumamoto探究入試(※2) 【グローバルリーダー育成型】				
	国際バカロレア入試(※2)				
	海外在住者対象(※2)				
	帰国生徒対象(※2)	11月中旬頃	1月下旬頃	2月25日	3月上旬頃
	私費外国人留学生対象(※2)				
学校推薦型選抜Ⅰ(※2)		9月下旬頃	11月上旬頃	11月下旬頃	12月上旬頃
一般選抜・前期日程(※1)		11月中旬頃	1月下旬頃	2月25日	3月上旬頃

※1 大学入学共通テストを課す

※2 大学入学共通テストを課さない

探究活動で身につく力を評価する「Kumamoto探究入試」を導入します

共創学環では、新学習指導要領(2022年度実施)で充実化された「総合的な探究の時間」(探究学習)等での課題発見・課題解決的な学習活動で身につく力を測る新しい入試方法として、総合型選抜で「Kumamoto探究入試」を導入します。
授業外の取り組みも含め、自らの関心に基づいて、課題の発見や仮説の設定、実験・調査といった一連の課題解決・価値創造に取り組んだ経験を重視します。

	総合型選抜:Kumamoto探究入試（募集人員:18人程度）		
類型	プレゼンテーション型 【大学入学共通テストを課す】 (10名程度)	地域課題解決挑戦型 【大学入学共通テストを課さない】 (4名程度)	グローバルリーダー育成型 【大学入学共通テストを課さない】 (4名程度)
主な 出願要件	●高等学校等の教育課程内の授業において探究活動に取り組んだ経験がある者(教育課題外での取組も含む) ●合格した場合、入学することを確約できる者	●本学が開講する「地域課題解決セミナー」を受講し、修了した者 ●合格した場合、入学することを確約できる者	●本学が開講する「グローバル課題解決セミナー」を受講し、修了した者 ●合格した場合、入学することを確約できる者
出願書類	志望理由書・探究学習報告書・探究学習の成果物等	志望理由書・地域課題解決セミナー修了書等	志望理由書・グローバル課題解決セミナー修了書等
選抜方法	【一次選抜(書類審査)】 出願書類等を評価 【二次選抜(面接)】 探究活動に関するプレゼンテーションと出願書類を踏まえた面接 ※二次選抜までの結果を総合判定の上、合格内定者を決定し、さらに大学入学共通テストで指定する以下の教科・科目の成績(素点)の総得点が概ね60％に達した合格内定者を最終合格者とします。 〈大学入学共通テストの指定教科・科目等〉 国:国語・……1 数:数Ⅰ・数A・……1 数Ⅱ・数B・数C・……1 外:英、独、仏、中、韓から1 情:情報Ⅰ・……1 地歴:地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 公民:公・倫、公・政経 理:物基・化基・生基・地基、物、化、生、地から1 から1 から1 〔5教科6科目〕 ※地歴、公民又は理科のうちから1科目を選択すること ※「物基・化基・生基・地基」については、2つを選択することで「理科1科目」受験とする	【一次選抜(書類審査)】 免除 【二次選抜(面接)】 出願書類と地域課題解決セミナーの内容を踏まえた面接	【一次選抜(書類審査)】 免除 【二次選抜(面接)】 出願書類とグローバル課題解決セミナーの内容を踏まえた面接(一部英語)
その他	教育課程外(高校での授業以外)で探究活動に取り組んだ経験がある人も出願できます。 探究活動では、課題研究、部活動、委員会活動、課外活動、自主活動など活動の形式は問いません。	地域課題解決セミナー 【概要】 複数回の講義をオンライン(オンデマンド形式)で受講後、課される課題を提出し最終評価を行います。	グローバル課題解決セミナー 【概要】 複数回の講義をオンライン(オンデマンド形式)で受講後、課される課題(一部英語による)を提出し最終評価を行います。

一般選抜・前期日程

選抜区分	一般選抜前期日程【A方式】		一般選抜前期日程【B方式】	
	教科	科目名等	教科	科目名等
大学入学 共通テストの 利用教科・科目名	国 地歴 公民 数 理 外 情	国語・……1 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探から1又は2 公・倫、公・政経から1 数Ⅰ・数A・……1 数Ⅱ・数B・数C・……1 物基・化基・生基・地基、物、化、生、地から1 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ・……1 〔6教科又は7教科8科目〕 ※「物基・化基・生基・地基」については、2つを選択解答することで「理科1科目」受験とする。	国 地歴 公民 数 理 外 情	国語・……1 地総・地探、歴総・日探、歴総・世探 公・倫、公・政経 数Ⅰ・数A・……1 数Ⅱ・数B・数C・……1 物、化、生、地から2 英、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ・……1 〔6教科8科目〕
個別学力検査	国 外	現代の国語・言語文化・論理国語・文学国語(古文・漢文を除く) 英Ⅰ・英Ⅱ・英Ⅲ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 英Ⅰ・英Ⅱ・英Ⅲ・論表Ⅰ・論表Ⅱ・論表Ⅲ

現時点で計画中のものであり、掲載している内容等については、今後変更になる可能性があります。確定後の内容については、入学者選抜要項及び学生募集要項で必ず確認してください。

卒業後の進路（想定）

卒業後の進路として、以下のような幅広い分野の進路先を想定しています。



企業・自治体からのメッセージ

私たち熊本県内外の自治体は、熊本大学と連携し、ローカライノベーター育成を目指す未来創造塾の取組を通じ、地域課題の解決に取り組んできました。「共創学環」の学生の皆さんにも、地域フィールドを提供し、実践を通じ、地域課題解決力の強化が地域の魅力を高め、新たな価値を生み出し、地方への新たな人の流れを創出する環境を整えたいと思います。

学生の皆さんは、共に未来を築く仲間と考え、次世代の人材育成を全力で支えていきます。
一緒に、地域の未来を創造していきましょう！
入学、そして各地域での活動を楽しみにしています。



和歌山県田辺市長
真砂 充敏 さま

地域を思い、挑戦し続けるプレーヤーに是非なっていただきたい。



八代市長
中村 博生 さま

未来創造塾との連携により、共創学環の拠点となる「新しい学びの場」を八代に作ってまいります。



天草市長
馬場 昭治 さま

地域の若者たちが動き始め、未来を築く力を感じています。サテライト演習拠点を整備し、共創学環に協力していきます。



阿蘇地域振興
デザインセンター 理事長
渡邊 誠次 さま

学生の皆さんには、阿蘇全体をより実践的な学びの場として活用してもらいたい。



玉名市長
藏原 隆浩 さま

玉名をフィールドにして地元の人と共に地域課題解決や未来を構築できる人になってもらいたい。



菊池市長
江頭 実 さま

地域課題解決にはグローバルな知恵が不可欠。一緒に地域で活躍するためにも、グローバルな経験を重ねてほしい。



山鹿市長
早田 順一 さま

学生の皆さんには自治体の実践の場にどんどん出てきてほしい。そして地域の未来を共に創ってほしい。



熊本経済同友会
代表理事
笠原 慶久 さま

共創学環から未来へはばたく皆さんへ向け

熊本経済同友会を代表して、「共創学環」に挑む皆さんへ心からエールを送ります。熊本は成長の可能性を広げる一方で、人口減少や地域間格差といった課題に直面しています。「共創学環」で知識を深め、経験を積み、自らのパーパス（存在意義）を深く見つめることで、自身の成長はもとより地域課題解決につながる能力を習得されることを期待しています。私たちと共に、地域社会の未来に向けた挑戦に踏み出し、熊本から新しい価値を創造していきましょう！



NTT西日本
サービスエンジニアリング部
DXリデザイン室長
浦川 秀明 さま

「共創学環」の学びを基に、地域から全国、世界へ飛び立とう！

多くの日本企業が、事業領域・技術領域を横断した企業変革・DX（デジタルトランスフォーメーション）に注目する今、熊本大学が掲げる「越境人材育成」の取組は注目に値します。地域課題を起点に、AIやロボティクスに代表される先端技術をグローバルに探索し、その課題解決や新しい価値を創出できる人材はまだ不足しています。「共創学環」での学びを基に、地域から全国、そして世界へ飛翔しましょう。



野村ホールディングス株式会社
インベストメント・マネジメント企画部
末永 拓也 さま

自分の考えを持ち、行動し、仲間と創る力が未来をきりひらく

自律人材、それこそがいま求められている。痛感したきっかけは、入社4年目で経験した米国本社勤務でした。異国の地での業務は、常に自己の意見を持つこと、自ら考え行動すること、そして周囲を巻き込みながら物事を最後までやり遂げる力が求められる毎日でした。共創学環で過ごす日々にも同様の姿勢が求められると思いますが、共創を通じて新しい価値を生み出す経験は、未来の社会で活躍するための重要な基盤を築くものだと思っています。



富士電機株式会社
半導体事業本部
営業統括部
西村 憲治 さま

自分の想いを正確に伝え、人を動かす力を磨こう！

学生の皆様が共創学環での学びを通じて、様々な人を動かす力を培われることを期待しています。世界各国の仲間やお客様との協業には、語学力だけでなく客観的な情報に基づく意思伝達が重要だと日々感じます。大きな事業であるほど関わる相手は増え、立場も様々になるので、依頼や主張の際は意図や根拠を正確に伝える能力が求められます。自分の想いを客観的に表現し、仲間や経営を共に動かしていく人財を弊社は探しています。



熊本県信用保証協会
会長
田嶋 徹 さま

共創学環を選び、将来、社会イノベーションを担う挑戦者たちへ

今、地域金融の世界では単に融資にとどまらず、事業者への経営支援を行うことが強く求められています。地域課題をビジネスで解決する事業者を育成・サポートすることは、地域経済への貢献につながります。共創学環では、実際の社会課題の解決に取り組む産学官金の研究者や実務者から、各分野の生の声を聴き、自らの実践力を高めることができます。是非、共創学環の4年間を経て、地域経済をリードするような人材になれることを期待します。



株式会社JTBC
熊本支社 支店長
阿部 敬行 さま

地域の魅力を発見し新たな価値へ。共に挑戦し、サステナブルな社会を創ろう！

JTBは「交流創造」を通じて、人と地域が交わる未来を描いています。「共創学環」での学びを通じ、地域の魅力を発見し、それを新たな価値へと変える挑戦に期待しています。皆さんの行動が地域を活性化し、社会を発展させる原動力となるでしょう。共にサステナブルな未来を創りましょう。



アサヒビール株式会社
広域営業本部 営業担当
佐野 恭兵 さま

共創学環での経験を、自分の魅力を高めるチャンスに

あなたから買います。それが営業の醍醐味。扱っている商品は同じ。知識や技術も必要だが、最後は「人」。商品力＋α「あなただから」と自分を選んでもらうことが、製品を手に取り、好きになるきっかけとなるはず。そうありたいと日々考え、営業をしています。あなたが共創学環で得る経験を、自分という商品価値を高める時間にどんどん活用して欲しいです。そしてどんな分野でも活躍できる「人財」になることを願っています。



ジーアイクラウド株式会社
(伊藤忠商事100%出資会社)
代表取締役社長
清原 延高 さま

自らの可能性を信じる力を育て、挑戦し続けよう！

海外での経験を通じて、語学力や商売の感度以上に自己肯定感の重要性を痛感しました。自己肯定感を通じて積極性や挑戦心が生まれ、高い目標の達成に粘り強く取り組む姿勢につながります。また、リーダーシップやイニシアチブを取ることで、失敗からの回復力、コミュニケーションの質にも良い影響を与えます。共創学環での学びを通じて、自らの可能性を信じる力を育ててください。大学のリソースを活用し、大きな一歩を踏み出しましょう。



金岡 省吾 教授
Shogo KANAOKA

専門分野
ランドスケープ
(環境農学)、
地域づくり

地域の持続的な発展には、多様な主体(産学官金)が共創しながら課題に取り組むことが求められます。理論と実践を融合させる、シンクタンクで獲得した、専門領域と社会科学の知を活用する文理融合アプローチを通じて、次世代のリーダーとなる人材の育成にも力を入れ、人口減少時代の地域づくりをマネジメントしています。



大藪 亮 教授
Akira OYABU

専門分野
マーケティング

マーケティング論は、「なぜあの会社は魅力的な製品を生み出せるのか?」や「どうして私たちは「丁寧な暮らし」に憧れるのか?」といった、身近な疑問を解き明かす手がかりを提供してくれる、楽しく奥深い学問です。身近な日常の中に隠れたビジネスの仕組みや消費者の心理を理解する面白さを体験してみませんか。



キタイン アルマンド
ティビギン 教授
Quitain Armando
Tibigin

専門分野
化学工学、マイクロ波科学、
超臨界流体、
カーボン系触媒、バイオマス

私の専攻は化学工学で、膨大なバイオマス資源をグリーンかつ持続可能な形で利用し、有用な化学物質や燃料を生産するための研究を行っています。これらのアプローチがどのように持続可能性に貢献し、社会を革新できるのか、一緒に学びましょう。



井原 健 准教授
Takeshi IHARA

専門分野
言語哲学

多くの人にとって言語と言えば日本語と英語の勉強でしょう。ただ、もっと大きな視点で眺めると、言語の関わる多くの側面について学ぶことが、そもそもわれわれ人間とはどういう生き物なのかという問いに答えるヒントを提供してくれます。そういう意味で言語の構造や歴史について知ることは意味があると考えられます。



鹿嶋 洋 教授
Hiroshi KASHIMA

専門分野
経済地理学、
産業地域論

共創学環では実践教育として地域でのフィールドワークを重視しています。地域を良くするには地域をより深く理解する必要があります。地理学の考え方やフィールドワークの技法が大いに役立ちます。私は経済地理学の立場から、地域の仕事(産業)と暮らしの関わりについて研究しています。地域に分け入り、共に学びましょう。



平野 順也 教授
Junya HIRANO

専門分野
コミュニケーション学、
修辞学

専門はコミュニケーション、特に修辞学(レトリック)です。コミュニケーション関係でも、特に暴力や死といった暗くて重いテーマに興味がありますが、最近ではジェンダーやポップカルチャーについても研究しています。



尾山 真 准教授
Makoto OYAMA

専門分野
ランドスケープ
(環境農学)、
キャリア開発

ランドスケープとキャリア形成を専門に、地方創生に取り組んでいます。地域での持続的な取組には、自分の興味や得意を活かすことが重要です。それぞれの強みを生かしながら、地域課題の解決に挑戦し、未来を創りましょう。一人ひとりの想いが地域の力となり、新しい可能性を生み出します。



片山 圭巳 准教授
Tamami KATAYAMA

専門分野
音声学、
第二言語習得論、
英語教育

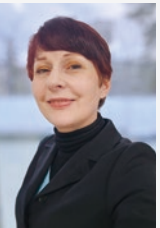
英語母語話者と日本人英語学習者の音声認識や、音声言語処理、そして日本人英語学習者のリスニング能力の発達について調査しています。現在は、日本語と英語の音節構造に焦点をあてて、日本人英語学習者がどのように音声言語を認識しているのか、また習熟度によって言語処理の方略に違いがあるのかについて研究しています。



矢原 隆行 教授
Takayuki YAHARA

専門分野
臨床社会学、
ダイアログ実践

聞くこと、話すこととしての会話が虚しいモノログに占拠されてしまわないために、私たちはいかなる「間」と「場」を創出していくことができるでしょうか。人と人、組織・機関間、コミュニティの内と外で生きた会話を重ねるための理念と方法について、共に実践を通して学んでいきましょう。



小池 ウルスラ
ヘレナ 教授
Helena Ursula KOIKE

専門分野
歴史学、
グローバル教育

現代のグローバル化が進む社会において、多様な文化や価値観を理解する力を養い、歴史の多層的なつながりを認識することが、国際協力や共生のために不可欠な能力です。貿易、戦争、移民、宗教、技術革新などがどのように地球規模で影響し合ってきたのか、グローバルな視点で歴史学を学んでみませんか。



山口 佳宏 准教授
Yoshihiro
YAMAGUCHI

専門分野
安全学、化学安全教育、
酵素化学、
生物資源化学

化学を基盤として、生体のタンパク質や酵素に関する実験・研究、また安全やその教育法について研究しています。さらに化学安全に関するベンチャー企業も経営しています。様々なリスクを見つけ、評価し、対策を施せるように安全や生物資源について研究し、持続可能な人間社会の構築に貢献したいと考えています。



栗山 恵子 准教授
Keiko KURIYAMA

専門分野
日本語教育、言語学

グローバル化が進み、日本語教育も構成主義から社会構成主義へとパラダイムシフトを遂げました。そんな中、日本語母語話者と非母語話者の共生や協働を目指した日本語教育の実践が増えてきています。語学教育を通じて、世界各国からの留学生と日本人学生が共に学べる学習環境で、皆さんも新たな学びを追求してみませんか。



佐川 祥予 准教授
Sachiyo SAGAWA

専門分野
日本語教育学、
ナラティブ分析、
ライフストーリー研究

ことばって何だろう? コミュニケーションをするのは何のため? 当たり前だと思っていることや身近なことを考えるのは、実は、けっこう難しいです。ことばを使うことは、他者との関係をつくるだけではなく、自己を形成し、また、世界を制作していく行為でもあります。いろいろな視点から、ことばについて一緒に考えましょう。



山口 智哉 准教授
Tomoya YAMAGUCHI

専門分野
宋代史、台湾史、記憶と場所

私が目指しているのは「場所をつくる」ことです。現在、恐ろしいスピードで「場所」が消失し、そこに宿る「記憶」が失われています。いまいちど記憶をかき集めて物語を編み、空間に埋め込むことで場所を創造し、地域や国を超えた人々と共有できれば、場所を永続させることができます。場所を一緒につくってみませんか?



シムズ ランダー
ブライアント 講師
Lander Bryant Sims

専門分野
教育技術

国際的な環境で働くにはどのようなスキルが必要であると考えますか? 語学力はもちろんのこと、異文化理解、適応力、柔軟性、感情的知性も必要不可欠なスキルです。私と一緒に、国内外の留学生と直接学び、将来に役立つスキルを磨きましょう。



上土井 宏太 准教授
Kota JODOI

専門分野
ディベート教育、議論学、
英語教育学

現在の専門はディベート教育ですが、学部・修士は応用化学を専攻していたので、文理両方の視点から研究を行っており、幅広く、議論教育、ディベートを用いた英語教育などを扱っています。学生の皆さんにディベート、議論の面白さを伝えて、一緒に学び合うことを楽しみにしています。



西川 里織 准教授
Saori NISHIKAWA

専門分野
社会心理学、発達心理学、
医療心理学

社会心理学は、集団や社会生活における人間の心と行動の本質を探る学問です。私は、地域や日本、さらにはグローバルな視点から世界全体を見渡し、人々の心の動きに関心を持っています。複雑に絡み合った社会問題を解きほぐし、その解決策を共に考えていきましょう。



ハリ プラサデウ
デブコタ 助教
Hari Prasad Devkota

専門分野
リーダーシップ教育、
科学コミュニケーション、
異分野教育、医療政策

リーダーシップ教育と異分野教育を基盤とし、革新的かつ異文化間のアプローチを通して、複雑な地球規模の課題を解決するための重要なスキルを習得します。そして、様々な分野にわたる持続可能なソリューションを創出できる未来のリーダーを育成します。



崔 相振 准教授
Sangjin CHOI

専門分野
韓国語教育、
異文化コミュニケーション、
韓国現代文化

言語は人と人をつなぐ不思議な力があります。また、グローバルな視点で考え行動するために語学力は欠かせない武器となります。可能性に満ちた魅力あるキャンパスで留学生と触れ合いながら、韓国語を体系的に学び、韓国文化に多く触れ、異文化理解や異文化コミュニケーション力を身につけましょう。



石原 明子 准教授
Akiko ISHIHARA

専門分野
紛争変容・平和構築学、
医療福祉政策

「対立や葛藤から未来を拓く」紛争変容・平和構築学を専門としています。グローバルそしてローカルな社会課題や平和の課題に共に向かい、対話やアートを用いてよりよい未来を共に創り上げる方法を実践的に学びましょう。環境、平和、少子高齢化、サステナビリティに関心のある方、集まれ!



イアン アイズマンガー 教授
Ian ISEMONGER

専門分野
教師教育、応用言語学、第二言語習得、英語教育、
心理測定学、異文化コミュニケーション

私は英語教育を専門とし、大学院レベルでの教師教育にも関わっています。英語教育、教授法、カリキュラム設計、第二言語習得、統計的方法論、心理測定学、異文化コミュニケーションを教え、研究しています。また、アクティブ・ラーニングやAI(特にLLMベースのチャットボット)の言語学習への応用、デジタル人文学、学際的知識生産にも取り組んでいます。

上記教員の他、文学部、法学部、理学部、工学部等の教員が参画します。
さらに、国内外の企業・自治体・金融機関・教育機関等で活躍する人や
起業家・経営者等が外部講師として授業を担当します。